

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 日本人骨髄増殖性腫瘍患者における二次がんとしてリンパ系腫瘍の発症に関する全国調査

・目的： 本態性血小板血症、真性赤血球増加症、原発性骨髄線維症はフィラデルフィア染色体(Ph)陰性骨髄増殖性腫瘍（myeloproliferative neoplasm：MPN）に分類される疾患で、造血幹細胞の異常により引き起こされる血液がんの一病型です。MPN 患者さんは、治療中に別のがん、特にリンパ系腫瘍（悪性リンパ腫、慢性リンパ性白血病、多発性骨髄腫）が一般の方に比べ多く発症することが海外の研究で報告されています。このことが日本人の MPN 患者さんでも当てはまるかを明らかにします。さらにそのリンパ系腫瘍の特徴を解明することで、MPN 患者さんにより質の高い医療を提供することが本研究の目的です。

・研究期間： 承認日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日

・研究対象： 2007年4月1日～2020年12月31日に、通院または入院された患者で、骨髄増殖性腫瘍と診断された後に、リンパ系腫瘍と診断された患者さんを対象とします。

利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査（血算、末梢血液像、血清 LDH 値、フェリチン値、エリスロポイエンチン値、凝固機能検査、体細胞における MPN ドライバー変異（追加検査は行わない）、sIL2-R、IgG、IgM、IgA、総蛋白、アルブミン、 2MG 、タンパク分画、タンパク免疫電気泳動、FLC）、画像検査（悪性リンパ腫診断時の PET-CT 検査/CT 検査）、心電図検査、骨髄所見（MPN 診断時の骨髄穿刺、骨髄生検の組織学的所見、悪性リンパ腫 staging 時の骨髄生検の組織学的所見）、病理組織学的所見（悪性リンパ腫診断時の病理像）、MPN 治療歴、リンパ球系腫瘍に対する治療歴および反応性、転帰（生死、最終生存確認日、死亡の場合は死因、血栓症、出血性有害事象の有無および発症日）。

利用する者の範囲

研究代表施設と研究代表者

順天堂大学医学部附属順天堂医院 落合 友則

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 高橋 直樹

：